



## 4章 お金と場の浄化:お金／仕事環境②（後編）

---

～思念、心の浄化を行い、自分の中にエネルギーを循環させて解放する～

植草: 皆さん、こんにちは。今回は、第4話「お金と場の浄化」の続きということで、  
こちらですね、



お金に対する仕事場の浄化  
—太陽と月の儀式—

場の浄化についてのお話しですので、「お金に対する仕事場の浄化 -太陽と月の儀式-」ということで、準備をしまりましたので、そちらのほうを見ていただければと思います。早速、やっていただければと思うんですけども。

東城：今回は、まずは、お塩のほうからいきたいと思います。

植草：塩を使った浄化。

東城：普通にお金の浄化という状態で作るのであれば、満月の日。  
ただ、条件がありまして、晴れているときが。

植草：満月って、基本的には月に1回なので……。

東城：うまくいくと2回のときもあるんですけども、1回なので、もし雨が降ってしまった場合はできないので、ちょっとそこが難関なんですけど。

植草：その条件をクリアしてこないといけないんですけども、それをクリアしたうえで。

東城：まず、お塩。お家にあるお塩で構いませんので。

植草：何でもいいんですよね？

東城：はい。ただ、風が吹いたりとかして飛んでしまう可能性がありますので、お塩を飛ばないように状態に。たとえば、お皿なら深めなもので、上に薄い和紙とか。サランラップはダメですよ。

植草：レンジでチンするわけじゃないですからね（笑）。

東城：そうです（笑）。

そして、紙が飛ばない輪ゴムで留めて、置いておく。月の光にあたる場所に一晚置いてください。そして、次の日の朝日が出ているうち、お昼過ぎに起きるのではなく、午前中に起きてください。

そうしたら、そのお塩をお部屋に入れていただいたら、このように、今回用意させていただいたんですけれども見えますでしょうか。このようにしていただいて。

植草：こんな感じですね。



東城：これが浄化塩になりますので。これをお財布にしまってください。

植草：どうやって入れるんですか？ この塩のままは入れないですよね？

東城：入れられないので、できればティッシュでくるんで、かつそこに、今度は、そこでサランラップが出てくるんですよ。ラップで包んで、こぼれないようにして、お財布のお札のところに入れるのではなくて、脇のカードケースとかあ

りますよね。脇の中にしまっておく。

その際に、ただお塩だけを入れるのではなくて、これをティッシュで包みますよね。そこに5円玉を置いて、サランラップで包んで、それを脇に差しておく。

そうすることで、金運の、お金の流れがよくなり、ご縁ができます。かつお財布の中の悪いもの、お金をブロックしていただろうという、お金の中の悪い運気を全部吸いとってくださるので。これはやったほうがいいです。私も入っています。

植草：手軽なのでね。ただ、唯一の難関の満月の出ている日ということだけクリアできれば、非常に簡単なことですよね。これは作り溜めとかしておいてもいいんですか？

東城：作り溜めをしておく、  
その子たちはどこへ行くの？というのがあるじゃないですか。

植草：じゃあ、作り溜めはできなくて。

東城：もし作り溜めをするのであれば、へそくりのようなところに入れておくとか、日頃貯めている貯金箱の中に入れておくとかという状態で、お金と一緒にしているぶんにはいいです。

植草：塩を、さっき何でもいいと言ったんですけど、最近だとおしゃれなところに行くと、白い塩だけじゃなくて、ピンクソルトとか、クリスタルソルトとか、いろいろあるじゃないですか。何でもいいんですか？

東城：前回は、ヒマラヤ岩塩という指定があったんですが、今回はお金なので、岩塩だとお財布の中で砕けてしまうのがあるので、できれば家にある粗塩か、普通のサラサラした、かつ天然のお塩であることが条件です。

植草：そこだけ注意していただいて。  
1回入れたものは、どれくらい入れておけばいいでしょう？

東城：不思議なことに、そのお塩が、5円玉があるじゃないですか、真っ黒に黒ずんでくるんですよ。

植草：お金が黒ずんでくる？

東城：そうなんですよ。一緒に入れてある、見えるじゃないですか、サランラップで包んで。あれが、ある日突然。たとえば本当にお金のブロックが高くて、浄化ができていない人が入れておくと、1週間ぐらいで、いつの時代の5円玉ですかっくらいに錆びてくるというか、黒ずんでくるんです。そうしたら取り替えどきです。

植草：5円玉の色が変わったら、これはもうダメだぞと。

東城：お塩が限界だぞと、悲鳴を上げている状態なので。

植草：そこを注意していただいて、やってみると。そうすると、お金の流れがよくなるということですね。5円玉のほうは替えなくてもいいんですか？

東城：5円玉も替えてください。その5円玉はどうするかというと、必ず、住んでいる家の近くの神社さんのお賽銭箱に入れてください。そして、

「お金の浄化ができました。ありがとうございます。」

と言って、お賽銭箱に入れてください。

植草：賽銭で入れるのはいいんですけど、入れるときの注意点とかポイントってあるんですか？

東城：もちろん、いろいろな参拝の仕方ってあるじゃないですか。お賽銭を入れるときに端っこを歩いてとか、二礼してくださいとかっていう、通常のやり方で構わないんですが。

皆さん、お参りの仕方はわかっているんですよね。ただ、鈴を鳴らさない方がいらっしゃるけれども、何よりも最初に清めるところで、手を洗うじゃないですか。そのあとに口もゆすぎ、そのあとに5円玉もそこでゆすいでください。

最後に持っているひしゃくをゆすがない方が多いんですよ。手持ちのところにお水を流さなければいけないのに、そのまま置く方が多いんです。

植草：確かに見たことがないですね、そこまでやる方は、なかなか。

東城：そこまでやって初めて清めなので。そして必ずお参りに行くということです。

植草：そこのマナーというかね。参拝の通常のやり方みたいな話になっちゃうんですけども、ルールってあるじゃないですか。

東城：神社さんによって違うんですけど、王道なやり方ですと、

まず鳥居に入る前に一礼して、そして真ん中ではなく端を歩いて、そして手を洗い、口を洗い、5円玉を洗って、ひしゃくを洗って、手を拭いたあとに、また端を歩いて本堂まで行くじゃないですか。

そしたら、そのところで、場所によっては四礼というところもありますけれどね、鳴らして、お賽銭を入れて。そうしたら一歩下がって、また頭を下げ、端を歩いて鳥居を出て、また頭を下げ、終わりなんですよ。

植草：真ん中を歩いちゃダメなんですか？

東城：真ん中は、神さまの道。あそこは神道（しんどう）といって、神さまが通る道なんですよ。あの道は、参拝者を通すための道でできているのではなくて、神さまが行き来するための道で作られているので。私たちが通る道ではないんですよ。

植草：鳥居があるじゃないですか。鳥居の中は通っていいんですか？

東城：中の端を通って構いません。

植草：中の端を通って、お参りをして、また端っこを通って出てくると。

東城：中には、鳥居の下の参道が石段になっていて、土がないくらいにやっているとこもあるんですよ。そういうところは、鳥居をくぐるなという意味なのか、端から回る方もいらっしゃるんですが、その場合は、鳥居の外から回るのではなくて、端のところの石段を踏んでもいいので、端を通ってください。

植草：端を通るのが正しいですよということを覚えていただいて。あとは、5円玉をちゃんとやってくれということで、注意をしてやっていただければ、お金の浄化という形になるということですよ。じゃあ、次ですかね。

東城：今度は、月の儀式のほうを、特別な儀式のほうを。  
このままで、金曜日のやつをいきたいと思います。

植草：金曜日のやつ。

東城：これはあまりオープンにはしていないんですけど、  
今回、この動画を見ている方ということで。

お金というのは、働かないと入ってこないじゃない  
ですか、ギャンブルでない限り。なので、仕事場  
のお金の流れをよくするというものがありまして。

だいたい皆さんは同僚よりも、上司の方で苦しん  
で、お仕事がうまくいかなくなっちゃうパターンが  
ありますので。今回はそのやり方というのがあります。

これは金曜日に限ります。金曜日の深夜0時ジャストですよ。0時ジャストに、  
先ほどと同じように、お塩を月の光の下に置いてください。そして、朝6時に  
必ずそのお塩を取り込んで、それを前回と同じように5円玉を挟む形で、同じ  
ようにラッピングしますよね。

そうしたら、お塩を今度はお財布ではなく、もしお財布しか持たないよという  
人でしたらお財布でもいいです。スマホを持っていて、カバーが手帳型のカバ  
ーだったらスマホの中でもいいです。あとは、ポーチ。とにかく身から離れな  
い状態のものにしまって持って歩いてください。

これは、上司の関係性とお金関係性を浄化してくれます。ただ、金曜日だけ  
なんです、限定が。

植草：金曜日しか、やっちゃいけない。

東城：そうなんです。それ以外にやっては、効果がないんですね。

植草：これは、別に満月とか関係なく。

東城：関係なく。金曜日の儀式とって。

金曜日というのは、金星に伴って曜日ってできています。惑星から曜日で、金



星に通ずるものがありまして。通ずるときに、美的効果とか調和とか運気を改善するというものが金星にはありますので、その力を借りるために金曜日にやるという。

歴史的にいうと、魔女学的なところで、昔の魔女狩りで亡くなられた魔女さんとか、そういう方たちは、皆さん、こういう儀式をやっていたんですね。なので、できれば、そこでこれをチャレンジしていただけるといいかと思います。

植草：今、2つ教えていただいたわけですね。

1つ目のやつは、太陽と月の儀式ではないんですか？

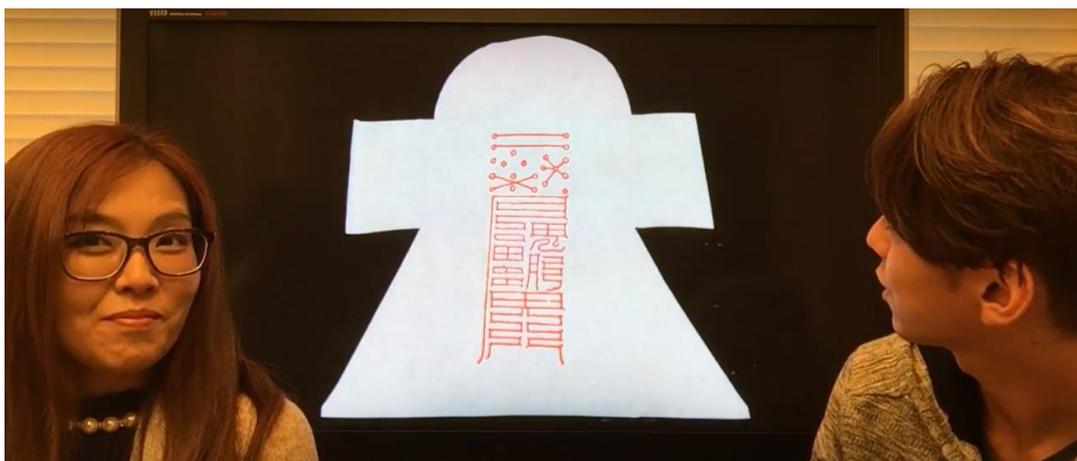
東城：一緒です。ただ、今回は金曜日に特化して、上司の方と緩和してお金がよくなるというものもあるので、そちらは秘儀ですよ、という形で。

植草：じゃあ、これ（「太陽と月の儀式」）が主題で、1つ目と2つ目があったということですね。

東城：そうです。

植草：ごめんなさいね。わかりにくかったかもしれないですね。そんな形で太陽と月の儀式をしていただくという形ですね。

じゃあ、次にいきます。こちらですね。



すごいですね。また、かなり神秘的なというかね。背景がありそう。これ、何て言うんでしたっけ？

東城：これは形代ですね。

植草：形代で、これは、また金運とかお金の範囲に特化したやつなんですか？

東城：そうです。今回は、この形代さんには頑張ってくださいまして、私が今お世話になっている神社さんで、形代に魂入れをしてもらいました。

魂入れというのは、車とかでも結構あるかと思うんですが、そういう参拝をさせてくださいまして、そちらのほうに、今回、霊符でも護符でも効果が強いと言われていた朱で書くこと。筆で書かせてくださいまして。

これは、家内、家庭内に財宝をもたらし、絶え間なくお金が入ってくる富と力を入れるために家庭内を安定させる。かつその際に、くるであろう邪気を払うという、意味がある霊符なんですね。こちらを今回は書かせていただきました。

それで、これをプリントアウトしてもらいたいんです、できれば。そして、神社仏閣さんで魂入れをしていますので、大事に、生きものののように扱ってほしいのですが、これをお財布の中に入れていただいて。

ただ、これは、効果は1年しかありません。それと、これは条件がありまして、他人に持っているのを見られたら、そこで命がなくなります。魂がなくなりますので。本人じゃないですよ、霊符の効果がなくなりますので、もし見られてしまった場合は、神社仏閣さんに行って、古札所にきちんと納めてください。

植草：古札所って、あまりなじみがない感じですけど。

東城：神社さんなんかに行くと、古いお札とかお守りを処分してくださる場所があるんですね。だいたい無料なんですけど、100円でというところもありますので、そこに奉納してください。

そしたら、もしその子が、というときは、またダウンロードしていただいて、やっていただければと思います。

植草：こちらのほうは、サイトのほうから画像をダウンロードできるようになっていますので、ダウンロードしていただいて。折り曲げたりしたらいけない？

東城：折り曲げてもいいです。お財布にしまうぶんには。ただ、見られてはダメです。

植草：見られちゃいけないということなので、人にお財布を見せないということだけ意識していただいて、やれば…。この子が身代わりになってくれるんですか？

東城：この子は霊符の効果がありますので、発動してそのほうに導くように。たとえば、金銀財宝が自分の家で富をもたらすというような状況を作っていただきます。

もちろん、果報は寝て待てじゃないですが、寝ていたら何も出てきませんが、お仕事もビッグチャンスだったりとか、とてつもない、たとえばの話、臨時収入が入ったりとか、というような感じで、自分の家庭を繁栄に導いてくださいますので。

植草：正しい努力をしていただきながら、この子を大切にさせていただくということで、よりパワーアップというか、していただけるんじゃないかなということですね。以上ですかね。

東城：はい。

植草：「お金と場の浄化」ということで、いくつか方法を伝授していただきました。ちょっと、発動条件みたいなのがあるので、その辺を注意していただくのが重要かなと思うんですけども。気軽にできるものも、かなりたくさん教えていただきましたので、ちょっと見直していただいて。

この章もかなりボリュームがたくさんありますので、一つずつできるところから楽しんでチャレンジしていただければなというふうに思います。では、また次回、お会いしましょう。ありがとうございました。

東城：ありがとうございました。

\*\*\*\*\*

次回は、5章「家の浄化とパワースポット化：家庭内浄化・開運」をお届けします。こちらもお楽しみ！